

嵐山町立小中学校再編等審議会 ご意見・ご感想

【資料 2】嵐山町立小中学校再編等審議会設置条例について

- ・第 8 条（守秘義務）を遵守します。

【資料 3】嵐山町立小中学校の現状について

- ・児童生徒数の減少は明白です。早急な対策が必要です。各学校の施設・設備の老朽化も顕著です。児童生徒が安全で快適に過ごせる環境を早急に整備するべきです。
- ・10 年後嵐山町として存続できるか危機感を感じます。学校の再編以前に、町として人口を増やす対策を考えているのか不安です。
- ・菅谷小学校、七郷小学校、菅谷中学校は、建築後 50 年に迫っており、建て替えが必要と考えます。
- ・学校により 1 学年の人数に差があるため、平等な教育とは思えない。
- ・児童生徒数の推移が良く分かり、審議会の議論の核になると思われる。
- ・少子化問題の現実を感じます。特に七郷小学校区は深刻です。
- ・クラス数、部活動、学習面において、中学校は 1 校の方が良いと思います。
- ・七郷小学校は児童数が少なくとも、伸び伸び登校していてメリットを感じています。
- ・昨年度の統廃合検討時のように方向性と広報の仕方次第では、児童数が増加するかもしれない。この点が重要と考え、確定事項がある度に効果的に広報をしてもらいたい。（SNS の活用など）
- ・玉ノ岡中学校区の人数が数年前と比較すると、かなり減少していることが分かりました。人数が少ないと部活動等できないことがあるなど、緊急性を感じます。

【資料 4】字別人数について

- ・子供の人数の減少も明白であり、七小、志賀小だけではなく、菅谷小学校区の人
数も問題であると思います。早急に対策をとるべきだと思います。
- ・字による差が大きいことは、町として問題です。全ての地区に人を呼び込み将
来を見据えた町づくりを希望します。
- ・現状の人数を見ると、6 年後が不安です。コロナ禍により、数年は子供が増え
る可能性が低いので、早急な対策が必要です。
- ・七郷小学校の人数が少ないことに驚きました。

- ・嵐山町の将来が不安になりました。子育て支援、雇用、土地利用を一緒に考える必要があると思いました。
- ・少人数しかいない地区のありますが、通学は毎日の事なので卒業までサポートできる体制をとらなければならないですね。

【資料5】町内学齢児童生徒数について

- ・小中学校を統合する必要があると思います。統合により、1学年の人数が多くなりすぎることはないと思います。ただし、統合の形や場所については、慎重に協議するべきだと思います。
- ・菅小1クラス30人超に対し他校は10～20人となっており、同じ町の中で1クラスの人数が違い、教育内容に不平等を感じます。統合で解決できないのであれば、全ての学校において1クラス20人前後で統一すべきです。
- ・七郷小学校の令和13年度は高学年も複式学級の見込みなのですね。
- ・七郷小学校の令和8年度以降の新入学生が10人未満になるというのも、不安しかないですね。
- ・中学校については、生徒が希望する部活動ができないなど問題が多いと思われる。
- ・七郷小学校において、複式学級が発生する見込みの令和9年度以前に、令和8年度の1年生が3人程度のままであるなら、それを防ぐ策を講じる必要があると思う。

【資料6】アンケート集計結果について

- ・概ね統合が必要と考えている回答が多いですが、具体的なことが分からず不安を抱えている方が多いと思います。定期的な説明を行い、また不安を解消するため、きめ細かなフォローが大切だと思います。
- ・一部の地域を除き6～7割が再編に賛成と答えており、再編が白紙に戻ったことに疑問を感じている印象が強い。不安の声も多いので、通学、教員の質、教育方針、いじめ、学校内における小学生エリア、中学生エリアの区分け等をしっかりと検討すべきと考える。
- ・回答の理由は審議するうえで重要です。学ぶべき点も多くあります。
- ・再編賛成が100%ではありません。議論の中心は、児童生徒の教育でありその成果です。
- ・通学方法について不安に思っている保護者が多いため、概要だけでも早期に周知すべき。
- ・自分と同意見のものが多く、また勉強になりました。
- ・保護者には様々な声があることを理解できる。先の計画が保護者や町民に十分

な説明や理解がなく進んでしまったのか。

- ・通学への不安が一番の課題であると思います。七小と志賀小の統合という意見が多くありましたが、バス通学であれば菅谷を含めどこでも可能と思う。
- ・皆様、設備の充実を望んでいたりと、通学に着目されているので、再編の際の問題点などについて、話し合いを重ね、問題点を解決したうえで決定して頂きたい。
- ・アンケートの結果から、状況に応じて再編を含め、必要があると考える方が多いとの印象を受けました。反対意見の多くは、子供の人数や通学に関することが多いと感じました。
- ・少人数で目が行き届く環境を望んでいる方が多いように感じましたが、志賀小のような人数であると、1クラスで教室が窮屈となります。多様性を受け入れることを身に着けるためにも、良くも悪くも多くの人と関わることは大切なことであると思います。クラス分けなどで、1人1人に目が行き届く環境というのは、対応できると思います。

○その他、全般的事項について

- ・校舎を建て替える費用の出所や金額等を、書面にしてほしい。
- ・多くの意見があるように、再編の話を進めるのであれば、小中学校及び幼稚園、保育園の保護者に説明会を実施してほしい。そもそもなぜ白紙になったのか分からないまま、次の話が出てもついていけない町民感情は当然。説明会等を開催し、町民を巻き込んだものになっていくことを願います。
- ・小中一貫校にした場合、1校に災害事故があった場合の代替方法がなく、また廃校になった校舎を安全に避難場所として使用できるのか不安との意見もあり、そのことも考慮して再編していく必要があると感じました。
- ・再編、統廃合は、避けられないと思います。少子化は加速しているので、効率的に協議を進めていく必要があります。
- ・少人数で目の行き届く環境が崩れることに不安を抱く方も多いようです。嵐山町独自の少人数学級を設定するなど、新しい時代に合わせた改革を考えていけると良いと思います。
- ・町に1校となると、いじめにあった際逃げ場がなくなる。
- ・学校がきれいというだけでメリットを感じるため、今回のプロジェクトが目玉となり人口増加につながることを期待する。
- ・情報を広く開示して学校再編を進めるべき。保護者からの質問や問題点等の聴取に努めてほしい。
- ・学校再編にあたり、補助金や町の負担（税金をいくら使うのか。）がどうなるのか、細かく町民に伝えるべき。

- 学校教育は、保護者や地域住民の協力が不可欠である。特に、小学校では身近な存在であることも必要である。また、小学校、中学校の教育課程を子供達にどう体現させるかが極めて重要であるため、中学校1校、小学校2校が良いと思う。
- アンケートの「少ないから統合する。」では嵐山町に子供がいなくなってしまう。という意見に共感しました。
- 校舎の建て替えは必要ですが、5校すべてを建て替えることは、財政的に無理そうで効率が悪い。限りあるお金を有効に、子供達や嵐山町の将来のために使ってほしい。
- 学校の再編は、子供達や住民にどのようなメリットを生むのかを説明できるよう、議論していきたい。